

# 「2025 年問題」へ民間連携で挑む！ 医療広報のあり方を変える「医療の視点」始動 ～ 医療のこと、他人ごとから自分ごとへ ～

横浜市では、「よこはま保健医療プラン 2018」に基づき、市民の皆様が将来にわたり安心して健やかに暮らし続けられるよう、医療・保健の仕組みづくりを進めています。

この取組の一環として、市民の皆様が医療を「他人ごと」ではなく、自分自身のこととして捉えていただくことに重点を置き、**医療に関する広報の新たなコンセプトとして「医療の視点」を掲げ、医療広報をこれまでとは手法を変えて実施することとしました。**

この取組の実施にあたって、横浜市の趣旨に賛同いただいた「MSD 株式会社」、「横浜市立大学先端医学研究センターコミュニケーション・デザイン・センター」及び「株式会社メディカルノート」のそれぞれと連携協定を締結した上で、今後、新たな広報の取組を具体的に進めていきます。

## 1 横浜にも迫り来る「2025 年問題」とは

- 横浜市でも、2025 年に 3 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者となるなど、高齢化の進展に伴い医療需要の増加が見込まれる問題です。医療提供体制を整備するため「よこはま保健医療プラン 2018」に施策を定め、将来を見据えた取組を開始しています。
- 高齢化が急速に進む中、誰もが必要なときに必要な医療を受けられるようにするためには、**市民・医療関係者・行政が医療に関する共通認識を持つことが重要**です。また特に、現在医療を必要としていない方にとっては、医療に関する情報は伝わりにくいことから、**市民の皆様が医療についての関心や理解を高めていただくことが必要**となっています。

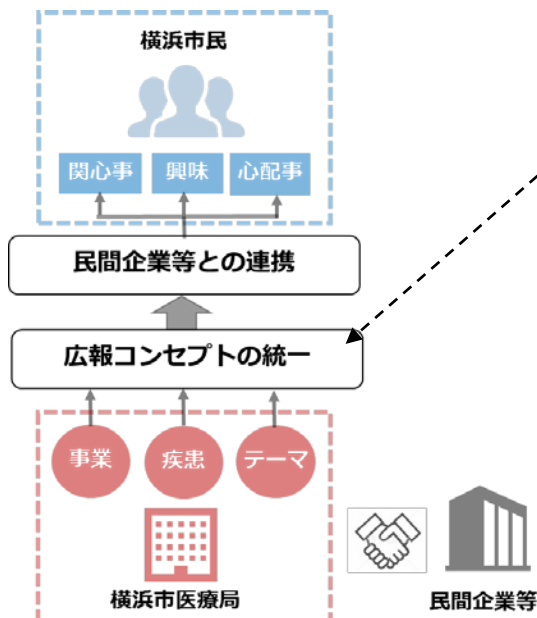
## 2 取組イメージ ～どのような手法に変わるのか～

### ポイント 1 広報コンセプトの統一

医療に関する広報のコンセプトやトーン&マナーを統一的に定めることで、異なる情報発信であっても、一目で横浜市の医療に関する情報であることが認知できるようにします。

### ポイント 2 民間企業等との連携

実施にあたっては、民間企業等と積極的に連携します。連携先の強みや広報戦略等を活用させていただくことで、市民の皆様にとってより印象に残りやすく、伝わりやすい、興味を惹く仕掛けとして企画し、実施します。



### 【コンセプトを表現したシンボルマーク】



**医療への視点が少し変わることで、異なる気づきが得られ、行動につながる**

- 目を凝らし、物事をよく見る様子をイラスト化
- 市民・医療関係者・行政の 3 本がまとまっていく様子を表現

### 3 具体的アクション（第1弾）

#### （1）「視点を変える展」イベント開催

親子連れでクリスマスの謎解きや写真撮影を楽しみながら、医療に関する気づきを自然と受け取れるイベントです。医療への関心や知識向上に取り組む企業等との連携により実施します。

【日時】 11月16日（金）～18日（日）（3日間）（詳細は10月中旬頃記者発表予定）

【場所】 マークイズみなとみらい  
（1階グランドガレリア等）

展示・謎解きゲーム・体感コンテンツ  
と一連の流れで参加する中で、「視点を変える」  
ことがカギとなるイベントです。



【連携協定締結】

**MSD 株式会社**（大手外資系製薬企業）

ヘルスリテラシー向上のため、かねてより社会貢献活動として一般生活者・  
医療関係者に、医学情報事典「MSD マニュアル」を無償公開。

**横浜市立大学先端医科学研究センターコミュニケーション・デザイン・センター**

医療・健康の問題に、デザインなどのクリエイティブ手法を用いてのアプリ  
ローチを目指す「広告医学」を推進する武部貴則教授が代表。



#### （2）「医療の視点」Web ページ開設

医療の情報をわかりやすく知ることができ、知識や新しい気づきを得られる Web ページを開設  
します。専門媒体との連携により、疾患等の情報についても正確で充実した発信を行います。

【開設日】 10月3日（水）



市の事業単位での周知ではなく、専門媒体に掲載する  
疾患やテーマごとに医療関係者に取材したストーリーを  
通じて、理解を深めることができます。さらに今後、  
市民参加型のページを拡充予定です。



【連携協定締結】

**株式会社メディカルノート**（医療情報プラットフォーム「メディカルノート」運営）

WEB サイト（<https://medicalnote.jp/>）での月間利用者数は1,000万ユーザー。  
信頼性の高いサイトとして平成30年度よりYahoo!検索とも連携。



### 4 今後の取組等について

今回のイベントや Web ページに限らず、今後様々な取組を実施していく予定です。横浜市の趣旨にご賛同いただける企業等の皆様からのお問い合わせをお待ちしています。

お問合せ先

医療局副局長 深川 敦子 Tel 045-671-4804